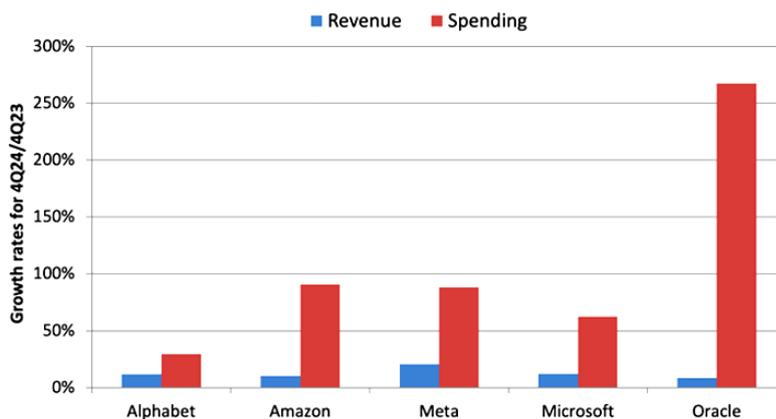


T20250228_05_LightC

コンポーネント不足がトランシーバの売上成長を制約

ライトカウンティング(LightCounting)は、Q4 2024 の決算に関するリサーチノートをリリースした。光コネクティビティの需要は依然として堅調だが、コンポーネント不足が Q4 2024 の光トランシーバの売上成長を妨げた。2025 年前半も影響を受ける見込である。

Figure: Overall revenue and capex growth rates for 4Q24 vs 4Q23 for the Top 5 NA ICPs



Source: Companies' publicly reported financials

Alphabet, Amazon, Meta, Microsoft and Oracle は、2024 年も 2023 年よりも大幅に多くの支出を続け、Q4 2024 には合計で前年比 73%増加した。Oracle の支出は 268%増(これはタイプミスではない)だが、TOP 5 の中では最も小さい数字。Oracle の 2024 年の支出は、Meta の 390 億ドル、Amazon の 830 億ドルと比べると、110 億ドル以下だった。

Oracle の CEO によると、2025 年度の CAPEX は 2024 年の 2 倍になる。Alphabet、Meta、Microsoft は 2025 年の支出を 40%以上、Amazon は 20%の増加を計画している。これまでのところ、DeepSeek の最近の成功による影響はない。

Coherent は、Q4 の連続的な売上成長率がわずか 6%で、Q1 2025 は横ばいと予想している。Innolight の収益成長についても同様

の傾向が見られると LightCounting は予想しているが、他のトランシーバベンダは引き続き 2 桁成長を報告する可能性がある。

800G DR8 および 2xFR4 トランシーバの大手サプライヤである Coherent と Innolight は、これらのモジュールで使用される 100G EMLs の不足によって最も影響を受ける見込である。両社は、Google と Nvidia での 1.6T トランシーバ導入の押し出しによっても打撃を受ける。

Lumentum は、Q4 2024 に 20% の連続成長を報告し、ガイダンスの上限を上回った。同社は、新しいハイパースケール顧客へのトランシーバ出荷を開始し、EML の売上高で新記録を樹立した。住友電工(EMLs のリーディングサプライヤ)も、Q4 2024 年に 2 桁の成長を報告した。

中国の光モジュールメーカーは、4 月に第 4 四半期の業績および通年の業績を発表するが、そのうちの何社かはすでに 2024 年の非常に高い純利益を発表しており、これは年間成長率の大幅な伸びを示している。これらのベンダの多くは、400G SR4 および 800G SR8 トランシーバを出荷しており、100G VCSELs 不足の影響を受けなくなった。これらは現在、すぐに入手可能である。また、中国の大手クラウド企業からのオプティクス需要も急増している。世界中の Tier 2 のクラウド企業や新興企業の長いリストも、2025 年以降の市場成長に貢献すると考えられる。

2025 年下半期には EML の不足が緩和され、シリコンベースの設計が引き続き市場シェアを獲得すると LightCounting は予想している。2025 年には、Ethernet トランシーバの売上高が 50% 増加すると予測している:「Optics for AI Clusters - January 2025」。

主要サービスプロバイダ 15 社のうち、8 社(AT&T, BT, Comcast, KDDI, NTT, Softbank, Verizon, and Vodafone)が Q4 2024

業績を報告した。Q4 2024 の通信サービスプロバイダの CAPEX は Q4 2023 比で 16%増加した。この増加は、北米での堅調な支出に大きく影響された。全体として、2024 年のテレコ CAPEX は 2023 年と比較して 4%減少すると予想されているが、2025 年には緩やかな改善が見込まれている。

Ericsson Networks の売上高は、SEK レポートによると前年同期比 4%増、第 4 四半期には前四半期比 17%増とプラスに転じ、全社売上高の 64%を占めた。北米市場は引き続き売上高を牽引し、AT&T や Verizon などの通信会社が当四半期の売上高を押し上げ、この傾向は Q1 2025 も続く見込である。

Nokia Networks の収益(ネットワークインフラストラクチャとモバイルネットワークセグメントを含む)は、ユーロで報告されたように、Q4 2024 に前年同期比 7%増、前年同期比 36%増だった。ネットワークインフラストラクチャグループの売上高は、前年同期比で 19%増加、Q3 2024 から 33%増加した。同社によると、Q4 の好調な売上高は「特に北米の通信サービスプロバイダからの需要の力強い回復を反映している」。たが、Q4 は通常、季節的にも増加している。

Ribbon は、Q4 2024 の収益が前年同期比 11%増、前期比 20%増の 2 億 5,100 万ドルと過去最高を記録したと報告した。

Juniper は、2024 年末の受注残は 7 億 3,900 万ドルで、2023 年末比較で 30%増加した。Q4 2024 のクラウド受注は、前年同期比で 200%以上増加した。

IBM の生成 AI 事業は現在、前四半期から約 20 億ドル増加し、50 億ドルを超えている。このビジネスの約 5 分の 1 はソフトウェアによるもので、残りはコンサルティングによるものである。インフラストラクチャ部門の第 4 四半期の売上高は、前年同期比 7.6%減の 43 億ドル。ハイブリッドインフラストラクチャの収益は 10%減少、System

Z は 21%減少した。

AMD の Q4 2024 の売上高は、データセンタとクライアントセグメントの売上増加に牽引され、前年同期比 24%増、前期比 12%増の 76 億 6,000 万ドルに増加した。

MACOM の売上高は 2 億 1,800 万ドルで、前年同期比 39%増、前期比 9%増で、11 月に発表したレンジをわずかに上回った。

MaxLinear の収益は 9,200 万ドルで、前年同期比 26%減、前期比 14%増で、10 月のガイダンスの中間値を上回った。